

令和4年度 事業計画

法人本部

1. 基本方針

約130年続く愛知育児院の基本理念は変わることはありません。それは、仏教の教えに基づく「共に苦しみ、共に喜ぶ」という同朋相互扶助の精神です。近年の愛知育児院の指標は「いのちの輝き」になっており、互いを尊重し合い、思いやりの精神をもって事業を遂行することにより、一人ひとりが輝くことを目標にしています。

児童養護施設の「南山寮」、地域小規模児童養護施設の「みなみ」「やまなみ」、保育を中心とした幼保連携型認定こども園「南山ルンビニー園」そして複数の介護施設をもつ「南山の郷」「みなみやま」、それぞれの施設がそれぞれの目標を持って社会福祉活動に邁進していきます。

2. 主な課題

愛知育児院の最大の特徴である施設間交流（世代間交流）は、新型コロナウイルスの感染防止のため具体的な活動が制限されてきました。この状況が解消された時、再び精力的にこの活動を再開していきます。

経営組織のガバナンス（組織統括）強化、職員のコンプライアンス（法令遵守）は引き続きの課題として取り組んでいきます。また、働き甲斐のある、働きやすい職場になるよう「人事考課」につながる具体案の検討を継続していきます。

3. 主な方策

理事や各施設長が参加する法人運営会議は、コロナ禍の中においても毎月行われました。毎回運営会議では「新型コロナウイルスの現状と対策」と題して施設ごとの取り組みを出し合い、お互い参考にしながら感染防止に役立ててきたのは有効でした。今後もそのようにしていきます。

愛知育児院の社会福祉活動の具体的な指標である「目配り・気配り・心配り」をさらに浸透させていきます。

4. 主な行事、会議など

正規職員採用、職場人事辞令発布式・・・4月 監事内部監査・・・5月 理事会開催・・・
業務の執行状況により随時開催（3ヶ月に1回は通常理事会開催）
評議員会開催・・・6月、3月は定時評議員会 苦情解決委員会・・・6月、12月
ふれあいまつり・・・10月 いのちの集い（盂蘭盆会）・・・8月
感謝の集い（報恩講）・・・12月 真宗大谷派名古屋教区第30組法話・・・毎月1回
真宗大谷派名古屋別院巡回法話・・・毎月1回
真宗大谷派名古屋別院「心の相談室」相談員による傾聴活動・・・毎月1回

<上記の行事などは、新型コロナウイルスの感染状況により中止または変更になります>